

人間開発統計別表

読者への手引き

各国の人間開発ランク（2012）

統計諸表

人間開発指数

- 1 人間開発指数（HDI）と構成要素
- 2 人間開発指数（HDI）の動向 1980-2012
- 3 不平等調整済み人間開発指数（IHDI）

経験指標

- 4 ジェンダー不平等指数
- 5 多次元貧困指数（MPI）

人間開発指標

- 6 資源を自由に使える能力
- 7 保健
- 8 教育
- 9 社会的統合
- 10 商品とサービスの国際貿易フロー
- 11 国際的キャピタルフローと移住
- 12 イノベーションと技術
- 13 環境
- 14 人口動態

地域

統計関連参考文献

テクニカル付録：予測値の算出方法

読者への手引き

本書に収められた14の統計表は、人間開発の主要な側面を概観する。これらの統計表のデータは、特にことわりのない限り、2012年10月15日に人間開発報告書室（HDRO）が入手できたものを用いた。集計指標の算出や追加情報などとともに、全てのデータはUNDPのインターネットサイト<http://hdr.undp.org/en/statistics>から入手できる。

国および地域は、2012年の人間開発指数（HDI）値によってランクされる。また、強靭性・信頼性解析により、ほとんどの国にとってHDIは、小数点3位までは統計的に意味がないと分かった（Aguna and Kovacevic 2011 および Hyland, Moene and Willumsen 2011参照）。したがって、小数点3位でHDI値が同じものは同ランクとしてリストに掲載した。

出典と定義

人間開発報告書室は、特にことわりのない限り、具体的な指標については、全国のデータを収集する権限、資源および専門知識をもつ国際的なデータ機関からのデータを使用している。

指標の定義やオリジナルデータの構成要素の出典は、各表末尾に、詳細な出典と合わせて明示した。

過去の人間開発報告書との経年比較

国際的データ機関は自らのデータ系列、つまり、HDI値やランクといったデータを継続的に改善しているため、本報告書にあるデータと以前に出版されたデータは比較できない。HDIについては、1980年から2012年にかけて5年ごとに算出される一貫したデータによる傾向は、表2に示されている。

国家推計と国際推計の不一致

国際機構は経年データの集計に際し、国際比較を可能とするための国際標準化と整合化の手順を踏む。ある国のデータが欠けている場合、他の関連情報が得られれば国際機構は推計を取ることがある。あるいは、国際的な経年データに直近の各国データが含まれていない場合もある。このような要因により、国際推計と国家推計の間にはかなりの相違が表れることもある。人間開発報告書室が、この不一致に気づいたときは、国のデータおよび国際データを取り扱う機関に注意を喚起する。

各国の分類と集成

表には、いくつかの人口加重集成値も提示されている。原則として集成値を記載したのは、少なくともグループ内の半数以上の国々のデータが得られ、かつ分類の中で利用できる人口の3分の2を表している場合である。各分類のための集成は、特にことわりのない限り、データが使える国だけのものである。集成値が加重平均値でなく第一次資料のデータとなっている場合もある。

◆人間開発の分類

人間開発指数（HDI）の分類は、187か国にわたりHDIの分布の四分位に基づき、HDI最高位国、HDI高位国、HDI中位国（各47か国）、HDI低位国（46か国）となっている。

◆地域の分類

国々はUNDPの地域分類に基づきグループに分けられる。他のグループ分けは後発開発途上国や小島嶼開発途上国という国連の分類に基づいてい

る。各々の地域の構成は、「地域」として表記される。

国に関する注記

中国のデータは、特にことわりのない限り、香港特別行政区、マカオ特別行政区、台湾省を含まない。また、特にことわりのない限り、スーダンのデータは南スーダンを含む。

凡例

「2005-2012」のように2つの年号をダッシュでつないである場合は、特にことわりのない限り、そのデータが同期間で入手できる最新のものであることを意味している。

「2005/2011」のように2つの年号をスラッシュでつないである場合は、特にことわりのない限り、そのデータが期間を通じた平均値である。成長率は通常、その期間を通じた年平均成長率である。

統計表内の記号の意味は次の通り。

.. データなし

0または0.0 「ゼロ」または「ほぼゼロ」

— 該当せず

統計に関する謝辞

本報告書の集計指標や他の統計上の出典は、各々の専門分野でもっとも権威ある国際的なデータ提供者を広く利用した。われわれは、以下の機関に感謝したい。

the Carbon Dioxide Information Analysis Center of the US Department of Energy; Centre for Research on the Epidemiology of Disasters; Eurostat; Food and Agricultural Organization; Gallup; ICF Macro; International Energy Agency; International Labour Organization; International Monetary Fund; International Telecommunication Union; International Union for Conservation of

Nature; Inter-Parliamentary Union; Luxembourg Income Study; Organisation for Economic Cooperation and Development; Stockholm International Peace Research Institute; United Nations Children's Fund; United Nations Conference on Trade and Development; United Nations Department of Economic and Social Affairs; United Nations Economic Commission for Latin America and the Caribbean; United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization Institute for Statistics; United Nations Office on Drug and Crime; United Nations World Tourism Organization; World Bank; World Health Organization; and World Intellectual Property Organization. さらに、ハーバード大学のRobert Barro および高麗大学のJong-Wha Lee両氏が維持する国際的な教育に関するデータベースは、本報告書の指標を算出する、もう1つの貴重な情報源となった。

統計表

はじめの5つの表には複合的な人間開発指数とその構成要素が含まれており、残りの9つの表には、人間開発に関連する広範な一連の指標が提示されている。4つの複合的な人間開発指数である人間開発指数（HDI）、不公平調整済み人間開発指数（IHDI）、ジェンダー不平等指数（GII）、および多次元貧困指数（MPI）は、人間開発報告書2010年版以来、ずっと提示されてきた。この中のGIIとMPIはいまだに実験的な指標のままである。

HDI値は、平均余命、学歴および所得などに関する4つの構成要素と並んで表1に示される。国々はHDI値に従ってランク付けされている。また国民総所得（GNI）によるランクとHDIの違いは、国が2つの所得外HDI面で、その所得を前進に効率的に使用しているかどうかを示す。所得外HDIは国際比較のための付加的手段を提供し、かつ所得外面における達成度によって国々に順位をつけるために

算出される。また、古いデータや方法論の最新修正版を用いることで、2012年において利用可能なデータに基づいたHDI値の時系列は、**表2**に示されている。これが過去のHDI値と2012年のものとを比較する唯一の方法である。過去5年、および2011年と2012年の間でのHDIランクの変化と同様に、四半期全体の平均年間HDI成長率は、HDI変化の方向および速度を簡単に評価できるようになる。

表3は保健、教育、所得における国の平均的な業績を超える不平等のレベルに応じて、各局面の値を割り引くことで、住民の間でどのように、その成果を分配するかを示すためのIHDIを提示する。IHDIは、(不平等を考慮に入れた) 人間開発の実際のレベルとみなされる。一方、HDIは成果を住民の間で平等に分配された場合に手にできる潜在的な人間開発のレベルである。また、パーセントで表されたHDIとIHDIの違いは、不平等に起因する潜在的な人間開発の損失を明らかにする。さらに、HDIとIHDIによるランキングの違いは、不平等を考慮に入れると国のランクを下げたり(負の値)、上げたり(正の値)するということを示している。

表4は、「リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)」「エンパワーメント」「労働市場」という3つの局面で、女性と男性との間の成果において、不平等の実験的複合指標であるジェンダー不平等指数(GII)を提示する。GIIは、政策分析や支援の取組みに対して実証的基盤を示すように配慮されている。高い値は、女性と男性の間の不平等が高いことを示す。

多次元貧困指数(MPI)は、実験的指標で、教育、保健、生活水準において人々が直面する重複する貧困を捉えるために考案され、**表5**に示されている。MPIは所得外多次元貧困の発生率(多次元貧困の状況にある頭数)と、その強度(人々が同時に経験する剥奪の相対数)の両方を示す。各局面での剥奪状況と貧困の全体像との関連が、貧困の中で暮らす人々の包括的な姿を提供するために加えられている。国々は、MPIを推定するために用いる調

査の年に応じて、2つのグループにアルファベット順で掲載される。

表6は、このような国内総生産(GDP)、総固定資本形成と公共支出の指標と消費者物価指数などのマクロ経済指標を組み合わせている。経済の不確実性や後退時には、総固定資本形成は、通常低下する。また消費者物価指数はインフレの指標として提示される。公共支出の指標は、支出の変化の分析を可能にするために、異なる2年の数字が示されている。これらの指標は、公共支出における優先順位と支出のパターン、さらには、人間開発の成果とどのように関係しているのかを検討するために用いることができる。

子ども、青年、さらには成人の保健に関するいくつかの指標とともに、医療の質に関する2つの指標も**表7**に提示されている。**表8**は、教育の質に関する指標とともに標準的な指標からなっており、読み、数学、科学における平均的なテストの点数(および平均点からの偏差)を含む。

教育の質の指標は、国連加盟63か国の2009年のデータセットを用いたOECD所管の学習到達度調査(PISA)による15歳の学生に割り当てられた標準化テストに基づいている。教育の質の2つの追加指標、初等教育を教えるために訓練を受けた教師、および、教育の質についての満足度の認識ベースの指標は、テストベースの品質指標を補完する。

社会的統合の**表9**のデータは、社会が包括的かつ統合されているかどうかを示す。特に、指標は平等であることの権利や雇用機会、および一般的不平等、人の安全性、信頼とコミュニティ満足の拡大を示す。補助的な客観的指標、および知覚ベースの指標は、社会的統合のより微妙な違いを明らかにする全体像を考慮に入れている。生命、自由、仕事への満足度は、それぞれの状況についての個人的な見解を重視する一方、コミュニティ満足度に加え、人と政府への信頼が、より広範な社会に対する人々の満足度を示している。

1国がグローバル経済に統合される過程は、**表**

10に示されている。最終財の取引と部品の取引との区別は、グローバルな付加価値および生産共有の現象を捕えるためのものであり、世界貿易の成長および南側諸国の経済開発のための政策に重要な示唆を与えている。

グローバリゼーションの2つの側面の指標:資本の流れと人間の移動度は、**表11**に示されている。外国からの投資を増加させることは、成長経済のグローバル化のひとつの方策である。移住は、仕事および資金を家に送るための機会であり、受入国の労働力を拡大する。あらゆる形態の人間の移動はまた、異文化を理解する上での潜在的な要因である。

表12は、効果的に技術を導入し使用するために、人間開発を促進し、国の能力を構築するための研究開発への投資の重要性を捉える。**表13**は、環境の持続可能性に焦点を当てる。それは、エネルギー供給における化石燃料と再生可能エネルギー源の割合を示し、二酸化炭素と温室効果ガス排出量データを見る3つの方法を示し、生態系と天然資源のための重要な手段を示す。この表は、自然環境の変化への人間の直接的な影響に関する指標も提示する。

現在の人口状態および変化の方向を理解するために必要とされる主な人口指標は**表14**に示されている。人口、扶養人口指数、総出生率の年齢中央値に関する統計は、労働力、および社会の持続能力に対する負担を評価するために比較することができる。出生時の自然な性比からの偏差は、人口置換水準に影響を与え、性差別と潜在的な将来の社会的・経済的な問題を示す。

各国の人間開発ランク (2012年)

アイスランド	13	コンゴ民主共和国	186	バルバドス	38
アイルランド	7	サウジアラビア	57	パレスチナ	110
アゼルバイジャン	82	サモア	96	ハンガリー	37
アフガニスタン	175	サントメ・プリンシペ	144	バングラデシュ	146
アラブ首長国連邦	41	ザンビア	163	東ティモール	134
アルジェリア	93	シエラレオネ	177	ブータン	140
アルゼンチン	45	ジブチ	164	フィジー	96
アルバニア	70	ジャマイカ	85	フィリピン	114
アルメニア	87	シリア	116	フィンランド	21
アンゴラ	148	シンガポール	18	ブラジル	85
アンティグア・バーブーダ	67	ジンバブエ	172	フランス	20
アンドラ	33	スーダン	171	ブルガリア	57
イエメン	160	スイス	9	ブルキナファソ	183
イスラエル	16	スウェーデン	7	ブルネイ	30
イタリア	25	スペイン	23	ブルンジ	178
イラク	131	スリナム	105	米国	3
イラン	76	スリランカ	92	ベトナム	127
インド	136	スロバキア	35	ベナン	166
インドネシア	121	スロベニア	21	ベネズエラ	71
ウガンダ	161	スワジランド	141	ベラルーシ	50
ウクライナ	78	セーシェル	46	ベリーズ	96
ウズベキスタン	114	赤道ギニア	136	ベルー	77
ウルグアイ	51	セネガル	154	ベルギー	17
英国	26	セルビア	64	ポーランド	39
エクアドル	89	セントクリストファー・ネイヴィス	72	ボスニア・ヘルツェゴビナ	81
エジプト	112	セントビンセント・グレナディーン	83	ボツワナ	119
エストニア	33	セントルシア	88	ポリビア	108
エチオピア	173	ソロモン諸島	143	ポルトガル	43
エリトリア	181	タイ	103	香港 (中国特別行政区)	13
エルサルバドル	107	タジキスタン	125	ホンジュラス	120
オーストラリア	2	タンザニア	152	マケドニア (旧ユーゴスラビア)	78
オーストリア	18	チェコ	28	マダガスカル	151
オマーン	84	チャド	184	マラウイ	170
オランダ	4	中央アフリカ	180	マリ	182
ガーナ	135	中国	101	マルタ	32
カーボヴェルデ	132	チュニジア	94	マレーシア	64
ガイアナ	118	チリ	40	ミクロネシア	117
カザフスタン	69	デンマーク	15	南アフリカ	121
カタール	36	トーゴ	159	ミャンマー	149
カナダ	11	ドイツ	5	メキシコ	61
ガボン	106	ドミニカ国	72	モーリシャス	80
カメルーン	150	ドミニカ共和国	96	モーリタニア	155
韓国	12	トリニダード・トバゴ	67	モザンビーク	185
ガンビア	165	トルクメニスタン	102	モルディブ	104
カンボジア	138	トルコ	90	モルドバ	113
ギニア	178	トンガ	95	モロッコ	130
ギニアビサウ	176	ナイジェリア	153	モンゴル	108
キプロス	31	ナミビア	128	モンテネグロ	52
キューバ	59	ニカラグア	129	ヨルダン	100
ギリシャ	29	ニジェール	186	ラオス	138
キリバス	121	日本	10	ラトビア	44
キルギス	125	ニュージーランド	6	リトアニア	41
グアテマラ	133	ネパール	157	リビア	64
クウェート	54	ノルウェー	1	リヒテンシュタイン	24
グルジア	72	バーレーン	48	リベリア	174
グレナダ	63	ハイチ	161	ルーマニア	56
クロアチア	47	パキスタン	146	ルクセンブルク	26
ケニア	145	パナマ	59	ルワンダ	167
コートジボワール	168	バヌアツ	124	レソト	158
コスタリカ	62	パハマ	49	レバノン	72
コモロ	169	バブアニューギニア	156	ロシア	55
コロンビア	91	パラオ	52		
コンゴ共和国	142	パラグアイ	111		